



菅生学園報

第15号 2024年5月号



理事長メッセージ



理事長
島田 幸成

新年度がスタート

行政が実施する少子化対策に期待し、教育環境の充実を図ります。

新年度に入り、菅生学園も初等中等高校あわせて、440人の児童生徒を迎え、学園生活が始まり、活気に溢れています。関係各位のご尽力に心より感謝を申し上げます。

さて、震災や戦争、政治不信など、社会環境も厳しくなっていますが、特に日本の場合、少子化の影響は深刻で、国や自治体が少子化対策を打ち出しています。東京都では、今年度より児童手当が拡充され、また、都内自治体は公立小中学校給食費の無償化実施を決めたところもあります。西多摩地域では今年度より、昭島市、福生市、青梅市、瑞穂町などで実施する予定で、瑞穂町では私立に通う児童生徒に対する給食費補助も実施します。公平な支援の観点から私立に通う児童生徒にも給食費補助をすべきで、学園としても私学協会とともに関係行政に訴えていきたいと思っています。

また、特に公立私立高校に通う生徒の保護者に嬉しいのが、東京都における高校授業料の無償化実施です。今年度より、所得制限を無くし、公立私立高校への授業料を無償化するというものです。(私立中学へは授業料10万円の補助)私立学校に通う生徒保護者の経済的負担軽減は私学協会や父母の会などが国や東京都に求めていたことでもあり、関係各位のご尽力に心より感謝申し上げます。いち早く高等学校の無償化を実施した大阪府では、私立の応募倍率が高まり、府立高校の倍率が低下し、私立入学者が躍進して、府立が減少、府立学校の統廃合が加速するのではという観測もでています。そうした状況も踏まえ、東京では、都立高校の危機感の高まり、募集活動の強化など都立高校の動きも目を離せないと思います。

菅生学園としては国や東京都、市区町村などの少子化対策の動き、影響の把握、そして、学園児童生徒保護者皆様への情報発信・共有をしながら、教育環境・内容の充実を図っていききたいと思います。関係皆様のご支援ご協力をお願いいたします。



今年は正勝坂の桜のドームが
新入生を迎えました

退任にあたって



前副理事長
島田 洋子

令和6年3月までの永い間、菅生学園で過ごさせていただきましたが、この間、学園の皆様方には大変お世話になりまして、ありがとうございました。

永い間の思い出は書ききれないほど多くありますが、前理事長の島田久が設立しました菅生学園を、このように大きく成長させてくださいました、菅生学園関係の一人ひとりの方々に感謝申し上げますと共に、今後も菅生学園がより方向へと歩んでいけますよう、皆様方のご協力をよろしくお願い申し上げます。

思えば今から数十年前、菅生学園の開校記念式典に松前達郎先生ご夫妻がご臨席くださり、テープカットをしていただいた思い出は、出席者何百人の方々にも心からの感謝の気持ちが伝わったことと思います。

時代は激しく変わりますが、今後も時代に添った歩みをつけながらも、菅生学園ならではの教育の道すじに励んでいただきますよう、よろしくお願い致します。いつも菅生学園を支えてくださっている多くの方々、ご父母の皆様方には、今後とも菅生学園へのご協力、ご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

卒業式特集

菅生学園初等学校



卒業生：13名

初等学校12期生13名が無事卒業式を迎えました。中学年ではコロナ禍もあり、リモート授業など慣れないことに翻弄された面もありましたが、たくましく成長しました。中等部に進学しても、菅生学園のリーダーとなって頑張ってください。

菅生高等学校中等部



卒業生：67名

第27期生の卒業生代表として野球部の生徒が答辞を読んだあと、みんなで思い出の「大切なもの」を合唱しました。式典後は1、2年生が花のアーチを作って卒業生を送りだすという、あたたかな気持ち溢れる旅立ちとなりました。

菅生高等学校



卒業生：394名

勉強や学校行事、クラブ活動と常に一生懸命だった394名が立派に巣立っていきました。今年の卒業生からは、平和ホールの机と椅子を卒業記念品として贈呈していただきました。



ご卒業おめでとうございます。
皆さんのこれからの活躍を心からお祈りします。

入学式特集

菅生学園初等学校



入学生：23名

初等学校18期生23名が入学しました。中等部のお兄さんお姉さんと一緒に少し緊張しましたが、約1時間の式にしっかり参加できました。おじい様おばあ様もご一緒の家庭も多く、初等学校の教育への関心の高さを感じました。全校児童が150名を超えました。

菅生高等学校中等部



入学生：67名

桜咲く学びの城で行われた入学式。新1年生は緊張の面持ちで入場しました。後日、生徒会が中心となって開催した新入生歓迎会では、手作りの花のアーチを掲げて嬉しそうな表情で2、3年生が迎える中、1年生が登場しました。

菅生高等学校



入学生；350名

朝は曇り空だった入学式当日。やがて晴れて穏やかな陽気となり、満開の桜のもと350名が入学しました。



新入生の皆さんの菅生学園での日々が充実したものとなるようお祈りします。教職員は全力でサポートしていきます。

学園トピック

(1) 学園の児童・生徒による奉仕活動

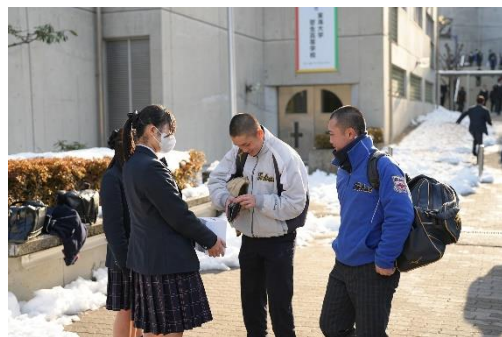
菅生高校、中等部の生徒会が積極的に奉仕活動に取り組んでいます。

1月30日には高校生徒会が主体となって朝は秋川駅と小作駅、放課後は学校周辺のごみ拾い活動を行いました。

2月7～9日には、高校生徒会が「能登半島地震による被災私立中学高等学校に対する義援金」の校内募集を行いました。これは一般財団法人東京私立中学高等学校協会が主催する義援金となりました。中等部生徒会も初等学校の代表委員とともに義援金を募り、「日赤令和6年能登半島地震災害義援金」に送りました。いずれも、多くの児童・生徒が快く協力する姿が見られました。

こうした活動はそれぞれのFacebookでも紹介されています。その中で高校生徒会は「これからも自分たちにできることを考え行動していきます。」と宣言していました。

他者、社会を慮る頭と心が育っている菅生高校と菅生高校中等部、初等学校の児童・生徒たち。一層頼もしく感じられました。



(2) 東京私立小学校児童作品展「ほら できたよ」

1月25日～30日松屋銀座店8階イベントスクエアにて東京私立小学校児童作品展「ほら、できたよ」が開催され、菅生学園初等学校も出展しました。コロナ禍で中止となっていたこの展覧会もやっと再開されました。都内の私立小学校21校分の素晴らしい図工作品も出展され、力作ぞろいの素晴らしい展覧会となりました。

菅生学園の教育理念である「自然が教科書だ」をコンセプトに、各学年の素晴らしい作品が展示され、たくさんの来場者の方が足を止めて作品に見入っていました。



菅生学園初等学校・菅生高校中等部

校長メッセージ

=新しい年度を迎えて=



布村 浩二校長

入学式、つい最近まで年長であった1年生が親御さんから離れる時の表情を見ると、何かこちらが悪いことをしているような気になりました。成長の過程で“自立”と呼ぶタイミングが何度もありますが、記念すべき義務教育一歩目、これからがあとという間です。一方、まだ制服に着られているような中学一年生の方は、最近まで小学校6年生だったとは思えないような凛々しいたたずまいでした。

対面式や歓迎会では、先輩たちに見守られながら少し照れくさそうにしている姿がとても初々しく映りました。この初々しさを忘れないで欲しいところです。初等部では早速縦割り班活動をしました。あれだけ走り回ってなかなか言うことを聞かない一年生がお姉さんお兄さんに声を掛けられると嬉しそうについていくんです。素晴らしい！中等部では三保で2泊3日の校外学習を行い、寝食を共にしながら集団生活の難しさと楽しさを学びました。“しつけ”という言葉を使うことさえ気を遣いますが、自然と身につくにはまだまだ時間がかかりそうです。この子たちが将来の日本を支えるべく立派に成長してくれるよう教職員一同寄り添いながら道を示していければ幸いです。

菅生学園初等学校

トピック

4月27日（土）、秋川ロータリー主催のロータリーリーダー2024クリーン活動に参加しました。本校のゆたか委員会のメンバーを中心に11名の児童と保護者が日の出・あきる野コースに分かれ清掃活動を実施しました。終了後は、キッチンカーでの昼食もいただき、心も体も大満足の1日でした。

島田理事長と一緒に参加しました

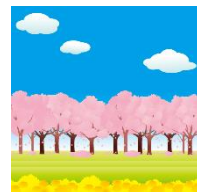


活動報告

1 / 9	始業式	2 / 9	東初協一斉研修会
1 / 10	身体測定	2 / 10	入学児保護者会
1 / 11	書初め大会	2 / 16	劇と音楽の会（ゆとろぎホール）
1 / 13	もちつき大会	2 / 26～3 / 1	授業参観日（保護者会）
1 / 19	英語検定	3 / 6～12	個人面談
1 / 20	オープンスクール・給食試食会	3 / 9	お別れ遠足（新江ノ島水族館）
1 / 23	第3回避難訓練	3 / 15	卒業式
1 / 26	漢字検定	3 / 18	修了式

4～7月の活動予定

4 / 6	始業式	7 / 2	東初協教員一斉研修会
4 / 7	入学式	7 / 5～12	個人面談期間
4 / 10	保護者会週間	7 / 13	スクールトライアル
4 / 15	写生会・個人面談週間	7 / 16	終業式
5 / 1	全校遠足（昭和記念公園）＜雨のための中止＞	7 / 17～19	4・5年生ブルースクール（千葉）
5 / 11	スガニア・プログラミング	8 / 19～21	全国教員夏季研修会
5 / 25	運動会	8 / 22～27	サマースクール
5 / 31	東初協教員一斉研修会		
6 / 8	オープンスクール		
6 / 15	授業参観・蛍の夕べ		
6 / 18～21	6年生修学旅行（京都・奈良）		



「放課後学習リニューアル」

3年間実施してきた放課後学習「Sugao20」の運営見直しが行われ、今年度新体制でスタートしました。医学・難関大コースを対象にしましたが、一貫進学コースにも希望者を募るようにしました。そして、終了時間を18時過ぎまでに短縮した分、クラブ活動等で放課後学習に参加できなくても、週4回のオンライン授業（S-O-L：菅生・オンライン・ラーニング）を、帰宅後に自宅で受けることができます。生徒がタブレットに書き込んだ個々のノートを遠隔地にいる外部講師が確認しながら、リアルタイムに授業を進めることができます。内容はある程度難易度を上げているため、その後は外部講師陣と教員が連携をとり、対面授業でフォローしていきます。

初年度につき、軌道に乗るまでに試行錯誤を繰り返すことがありますが、生徒のモチベーションを保ちつつ、効率的な学習に取り組める体制を確立していきたいと思っています。

放課後熱心に学習に取り組む生徒たち



【クラブ活動報告（2023年度関東大会相当以上）】

- ・剣道クラブ 第48回関東中学校剣道大会女子団体戦Dリーグ2位
- ・卓球クラブ 第51回関東中学校卓球大会ベスト16・第54回全国中学校卓球大会出場
- ・テニスクラブ 全国私立中学校テニス選手権大会
- ・野球クラブ 第45回関東中学校軟式野球大会準優勝・第45回全国中学校軟式野球大会ベスト16
- ・ソフトボールクラブ 全日本中学生ソフトボール大会出場
- ・女子チアダンスクラブ 全国中学校ダンスドリル選手権大会3位・USA ALL Star Nations 2023 3位

活動報告

1／7	全校集会	2／1	第1回入試	3／2	3年生地域清掃
	学校説明会	2／2	第2回入試		2年生野鳥観察
1／10	2,3年生GTEC	2／4	第3回入試	3／3	3年生卒業遠足
1／20	英語検定	2／6	第4回入試	3／15	卒業式
1／21	総合学習2,3年生	2／7	1,2年生外部試験	3／18	修了式
1／27	文章力検定	2／11	入学準備説明会	3／27	新入生招集日
1／28	漢字検定	2／20～24	学年末試験		

4～7月の活動予定

4／6	始業式	6／5	警察講演(2,3学年)
4／7	入学式	6／11	初等学校との交流会(1年S組)
4／11	新入生歓迎会	6／12	校内風景スケッチ(2学年)
4／23～25	校外学習	6／13	芸術鑑賞教室
5／10	自然観察教室	6／15	学校説明会
5／21～22	前学期中間試験	6／19	授業公開
5／18	学校説明会	7／14	オープンスクール
5／31	生徒総会	7／17～19	指名補充
		7／17	夏休み開始



菅生高等学校

校長メッセージ



峰岸 英仁校長

= 特進PBLコースが学校全体のレベルアップにつながる =

今年度スタートした特進PBLコースは、リベラルアーツ型教育を行う。理系文系の枠にとらわれることなく、各分野をバランスよく学び、多くの実践を通して高い問題解決力と英語力を身につけ、ボーダレスに活躍できる人材の育成を目指す。PBL（Project Based Learning）と英語を指導の中核としている。進路については、推薦型選抜・総合型選抜で有名大学・国公立大学、海外の大学を目指す。

このコースは本校が目指している教育の象徴であり、進学コースのパイロット（先行）コースと言える。そもそも本校には、40年を超える歴史の中で、この土壌が醸成されてきている。39期生の大学進学者の内訳をみると、東海大付属推薦49.0%、指定校推薦25.8%、総合型選抜13.6%、公募制推薦7.3%で、95.7%が在校中に高めた人間力と活動実績を活かして進路を決定している。この新しいコースの指導で得られるノウハウは、各教員のスキルアップにつながり、本校のさらなるレベルアップに向けた財産になると考えられる。

トピック

= 在校生も卒業生もがんばってます =

①本校卒業生(34期) 田中幹也（中日ドラゴンズ）さんが活躍しています。（東京中日スポーツ4月3日号）

②吹奏楽部は3月29日に開催された第12回首都圏学校交歓演奏会(関東新人大会)において金賞並びに準グランプリ賞(2位)を受賞することができました。課題曲「すてきな日々」、自由曲「愛と祈りの歌」は菅生にピッタリな曲で、表現力や鳴っていてもうるさくない菅生サウンドを醸し出すことができました。頑張ったメンバーに拍手です。

③第17回関東私立高等学校選抜剣道大会が神奈川県小田原アリーナで行われました。この大会は、名前は関東となっておりますが 関東・東北・北陸・東海・近畿から男女約300校が出場をしており 各都府県を勝ち上がり、全国選抜大会出場校が男女合わせて27校も出場をしているハイレベルの大会です。そこで、女子ががんばり昨年に引き続き第3位に入賞をすることができました。

①田中幹也さんの活躍を報じる
スポーツ新聞



②菅生サウンドが多くの人を
魅了しました



③菅生女子のがんばりを
見せました



活動報告

1 / 6 新年式
1 / 22 推薦入試
2 / 10 第一回一般入試

2 / 11 第二回一般入試
2 / 15 第三回一般入試
2 / 27 ~ 3 / 1 学年末試験

3 / 7 卒業式
3 / 18 修了式

4～7月の活動予定

4 / 5 始業式
4 / 7 入学式
5 / 7 ~ 10 1学年校外学習
(婦恋研修センター)
5 / 21 ~ 24 定期試験A

6 / 13 芸術鑑賞教室
7 / 1 ~ 4 定期試験B
7 / 18 全校集会
7 / 19 ~ 21 サマースクール
7 / 20 学校説明会



菅生 STEAMチャレンジ （9）

STEAM教育 ⇒S(Science 科学)、T(Technology 技術)、E(Engineering 工学)、A(Art 芸術)、M(Mathematics 数学)
このコラムでは、菅生学園の各校が取り組む様々な特徴あるSTEAM教育をご紹介します。
今回は菅生高校中部部のSTEAM教育リニューアルについて紹介いたします。

菅生高校中部部では医学・難関大コースにおいてコース開設当初からSTEAM教育としてとプログラミング教育やデータサイエンス教育を行ってきました。そして4年目を迎える今年、中部部のSTEAM教育のあり方を見直し、さらなるバージョンアップを図りました。
今年度からは、S-DX(スガオ・デジタルトランスフォーメーション)として全クラスを対象に、プログラミングやデータサイエンスを学ぶ授業をスタートさせます。

学年	学習の目的	学習内容
1 年	仕組みを理解する	・身の回りにある機械やコンピューターの仕組み
		・プログラミングの基本
		・トイドローンプログラミング
2 年	データを処理・活用する	・データサイエンスのための準備
		・データ分析の結果から結論を導く
		・実践のための準備
3 年	実践研究	・アプリまたはWebページの企画と設計
		・計画からの実装
		・実践発表

さらに、S-GPT（スガオGPT）として全クラスを対象としてChatGPTを活用する教育も展開します。これらの取り組みによって生徒たちが情報社会を生き抜くための力を育んでいきます。
この他にもすべての授業においてこれまで以上にICTを積極活用し、より探究的な学びを実現し、生徒の学力向上にもつなげていきます。
他にも、今年度から英語や国語の教科指導アドバイザーにご協力いただき、さらなる授業の質向上にも取り組んでいく計画です。

昨年度までのe-kagaku講座

1年生はプログラミング学習、2年生はデータサイエンスを中心に、3年生は画像解析などを学んできました。



菅生のひとこま （9）

《菅生高校 野外ステージ》

コロナ禍中、新入生歓迎イベントが思うようにできなかった時には吹奏楽部が歓迎コンサートを行った野外ステージ。1月27日に放送されたフジテレビ『新しいカギ』の『学校かくれんぼ』では、出演タレントをここに迎えました。『学校かくれんぼ』では、生徒たちが過去の放送から隠れる場所の傾向を徹底リサーチ。日頃のチームワークを存分に発揮して勝利を勝ち取り、図書カード100万円分を獲得しました。学校行事等でも常に元気いっぱいの生徒たちの活躍の場となる野外ステージです。



編集後記



たくましく成長した児童・生徒を送り出したキャンパスに新しい春が訪れ、フレッシュな新入生を迎えました。
島田洋子先生の退任ご挨拶にもあるように、「時代に添った歩みが続けながらも、菅生ならではの教育の道すじに励み」新たな伝統を築いていきたいとあらためて思う春です。